

# いそがわ ゆかNEWS Vol.1

皆様こんにちは。

吹田いきいき市民ネットワーク いそがわ ゆか（五十川 有香）です。

去る4月26日に行われました統一地方選挙におきまして、2,340票をいただき、5月27日より議員活動を始めました。先日の7月議会（7月16日開会～8月5日閉会）では、初めて議場で一般質問を行いました。質問内容については、別紙、議会だよりに記載しております。また、吹田市議会のホームページにて録画放映もいたしておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。

『いそがわ ゆかNEWS』では、議会だよりでは伝えきれない内容や普段の議員活動について報告いたします。今回の内容について、ご意見やご相談のある方は、事務所へご連絡ください。



## ～補正予算（仮称）くらしの場整備建設補助金について～

この事業は、重度障がい者が生活する場として施設を整備するものです。吹田市は、これまで事業整備に向け検討してきましたが、国や府からの補助金交付の決定がなされないため、先送りとなっていました。しかし、今後も国と府の補助金は期待できず、これ以上時期を遅らすことはできないとの判断から、市の財政からその部分を捻出するため8,962万5千円の予算案が提出されました。

重度障がい者の暮らしの場は市民の長年の願望です。事業実現にむけた予算提案は、大いに理解できますが、質疑を重ねていくと、事業者選定の公募のスケジュールが極度に短いことや、事業者は1社のみしか応募がなかったこと等、事業者決定過程において不透明な点が明らかになりました。

また、入居費用として任意とはいえ寄付金を依頼しており、その寄付金の有無が入所基準左右するのではないかとといった点で公平性に疑問が残りました。さらには、市が補助する運営費の概算についても、事業者と十分な協議が行われておらず、行政事務の怠慢といっても過言ではありません。

しかし、“くらしの場”は、根本的に人間の尊厳や人格の保障のために必要であり、行政のずさんな事務の進め方を理由にしてこの事業を先送りにすべきではありません。いそがわは、問題点は事業を進めながら改善するべきであるという意見を述べ、賛成しました。事業者と議論を重ね、入居者選定については公平性を保ち、決定していくべきと考えます。

## ～佐竹台幼稚園を「幼稚園型認定こども園」へ移行～

国は子ども・子育て支援新制度による待機児童解消のために保育機能の確保に対応できる認定こども園を推進しています。吹田市でも認定こども園移行に向けて、まず、私立幼稚園と協議をしたとのことですが、市内に認定こども園に移行する意思をもつ園は確認できませんでした。一方、市内の公立幼稚園では利用者が定員の半以下という園もあります。7月議会で、まずは公立の佐竹台幼稚園を認定こども園に移行する条例が提案されました。

幼稚園型認定こども園については、“これまで

の幼稚園をベースとして保育機能を持たせるもの”であり“市民ニーズに沿っている”という説明でした。しかし、質疑を重ねると、実際に移行する幼稚園の保護者にアンケートをしていなかったり、ニーズの確認不足が多く見受けられました。

いそがわは、今後も認定こども園について、市民の要望に応えられるものとなるよう、市民への説明やニーズ把握を丁寧に行うことを要望し、賛成しました。



## ～吹田市災害時要援護支援制度対象者の情報提供について～

地域における災害時要援護者の把握について、吹田市はこれまで、本人からの申請によって対象者を把握してきました。現在は約1,400人が登録されています。しかし、災害対策基本法の改正に伴い、自治体には新たな名簿作成義務が課せられ、災害時要援護対象者に関する要件が整備されました。これに合わせて吹田市でも名簿の整備を行い、約30,000人の方が要援護対象者となりました。

しかし、これら対象者の方々を平常時から見守るため、名簿情報を連合自治会や地区防災委員会などに提供をするには、本人の同意を取らなければなりません。今回示された同意の方法は、同意確認書を送付し返送してもらうというものです。回答のない

方へは来年度に再送するというものでした。市は回答率を他市事例から約6割と推測しています。

しかし、回答率を上げる方法は特になく、未回答者について迅速に再調査するといった対策も全くありませんでした。市として同意確認の必要性について認識が乏しいように見受けられました。

いそがわは、同意確認の回答率をあげるために、本人へのアプローチだけでなく、要援護支援対象者に関係する民生委員や事業者にも回答の必要性を伝えておくこと。また、本人の意思確認は、慎重かつ適正に扱うことを強く求めました。

同意確認書は、11月頃送付予定とのことです。

## いそがわ ゆか活動記録(抜粋)

### 〈5月〉

27日(水) 初登庁  
31日(日) ボランティアフェスティバル

### 〈6月〉

1日(月) ~  
10日(水) 臨時議会(役員選挙等)  
11日(木) 広報委員会/地区福祉委員会  
12日(金) 「ぶらっと吹田」にて  
北千里のまち歩き  
17日(水) 市民研究員「市民とお店をつなぐPJ」定例会  
/まごころ定例会  
20日(土) ~  
21日(日) 地区防災委員総務として災害本部マニュアル作り合宿  
22日(月) 操車場跡地特別委員会  
23日(火) 議員研修/マンションライフを考える会  
26日(金) ごみ問題学習会  
29日(月) ママGoGoの見学/マイナポータル制度研修会(西明石)  
30日(火) 議会運営委員会勉強会

### 〈7月〉

1日(水) 議員研修  
2日(木) 地域交流会(ディオス)



3日(金) 議員研修  
5日(日) 地区防災委員会総務会  
6日(月) 関西若手議員の会研修(高槻市)  
7日(火) 議員研修  
9日(木) 議会運営委員会/近畿市民派勉強会/  
地区福祉委員会  
10日(金) 議員研修  
11日(土) 地区防災委員倉庫ツアー/  
地域福祉活動計画フォーラム  
14日(火) くいしんぼ会  
15日(水) 祇園祭エコボランティア  
16日(木) 本会議(提案説明)  
18日(土) 夏祭り実行委員会/平和リレーマラソン  
23日(木) 本会議(一般質問)  
24日(金) 本会議(一般質問)  
25日(土) 紫金山グリーン合奏団演奏会  
27日(月) 本会議(一般質問)  
28日(火) 本会議(一般質問)  
29日(水) 常任委員会(福祉環境)  
30日(木) 常任委員会(福祉環境)



## いそがわ ゆか プロフィール

- ★1986年 京都市生まれ 29歳(8月に誕生日を迎えました) 五月が丘在住
- ★2009年 同志社女子高等学校・同志社大学社会学部社会福祉学科卒業
- ★2013年 尼崎市役所 福祉事務所勤務
- ★2015年 尼崎市役所 総務局人事管理部勤務
- ★2015年4月 吹田市議会議員初当選

◎市民活動・地域活動等

(公財)千里リサイクルプラザ市民研究員・千里竹の会・  
すいた市民環境会議・吹田自然観察会・紫金山みどりの会・

せせらぎ花の会・マンションライフを考える会・  
孫子老・子育てグループ・

五月が丘地区防災委員・福祉委員等

◎資格・経験

ケースワーカー・ホームヘルパー2級  
高等学校教員免許 公民科・福祉科



★ボランティアの皆さまに  
支えられて活動しています★

◎配布、折込作業のお手伝いをして頂ける方を募集しています。どの地域でも、何枚でも結構です。是非ご連絡ください。

◎カンパをお願いします。  
郵便振替 00920-4-331276  
いそがわゆか応援団

いそがわ ゆか(五十川 有香) 連絡先

事務所:〒565-0831 吹田市五月が丘東9-12-102  
TEL 4864-2874 FAX 6878-1452  
Eメール 510yuka.suita@gmail.com  
URL: http://isoyuka.net

